

万亭應賀作

^ 13  
3785  
43



門へ13  
號3785  
卷43

# 倭文庫

二拾二編上の巻

万身應賀作

一陽齋

曲豆國

一画



門入燈を画



錦  
堂  
梓

釋迦八相倭文庫二拾二編之叙

夫如来鹿野苑の説法（三藏教）と小乗の戒定恵及び三明

六通を得る（聲聞の修行を専説する）又十二因縁六度の法門

を説く（是を皆小乗教といふ）又往昔一個の比丘あり玉人の家に

布施を乞ふ玉人國王の摩尼珠を磨門口小居る折節るれ玉を

盤の上（昔）に立（小食と施んと欲し）て家内の奥へ入る跡を此家の

鷲王（と）春（王）をれを知む出で怒りて比丘を絞縛し（其）て其を責比丘既打

擲を受れ（も）戒を護て鷲の罪を云む時小鷲自然死せしと云これらの

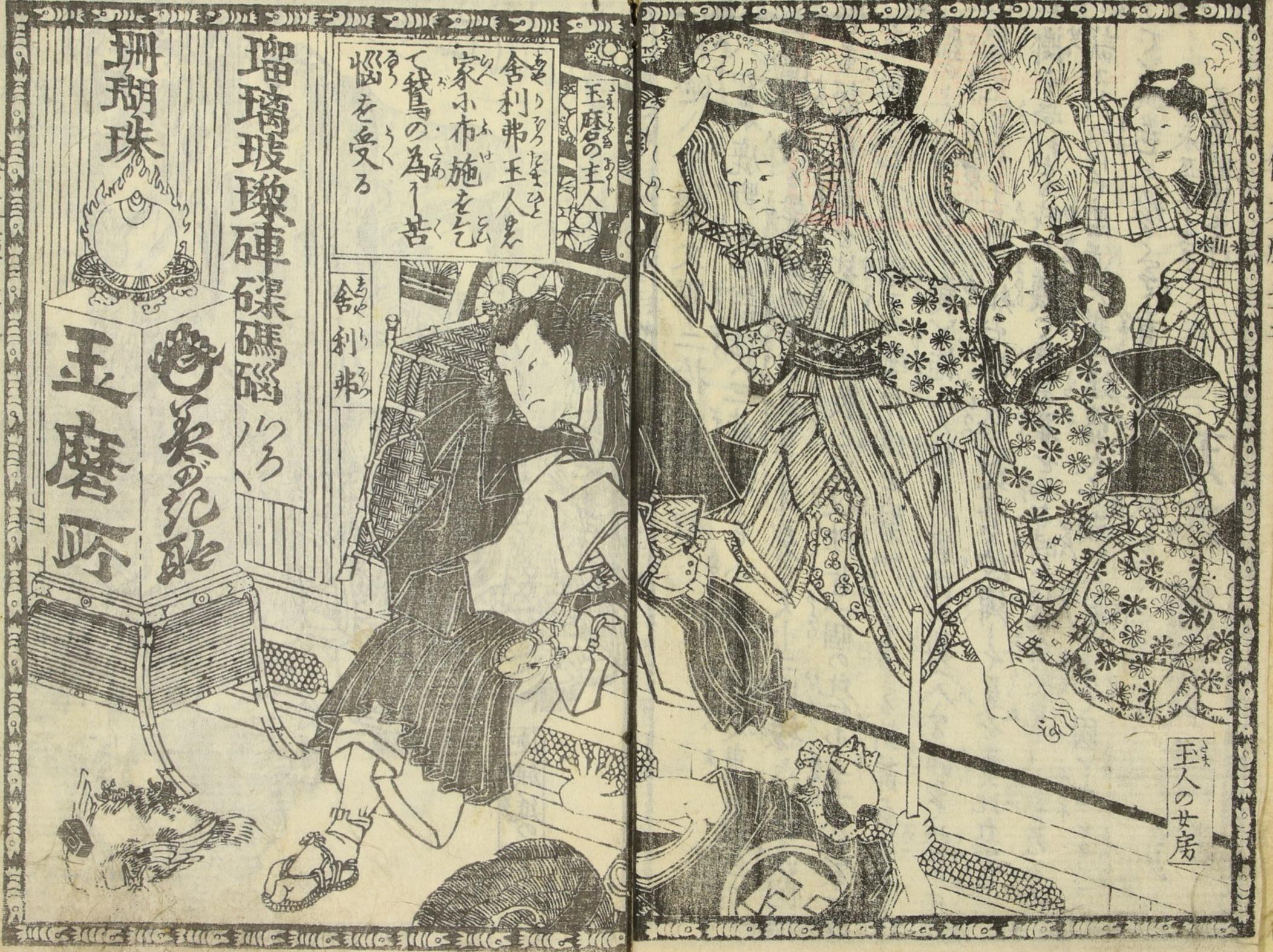
説（不）引（け）て惡逆大罪の連波安太子禍（と）ふ獸（と）求て國（と）亡（と）云々

で（此）巻（小）終（り）を看官杜撰（と）厭（む）尚高評を揚（へ）と云

嘉永五年壬子  
孟陽新梓發行

## 万身應賀誌





珊瑚珠  
玉磨石  
瑠璃玻璃碑碣碼碯

玉麻の主人  
舍利弗玉人  
家小布施を乞  
て我鳥の為し苦  
悩を受る

舍利弗

玉人の女房



迦旃延

私良之國の  
達婆太子  
禍を求め  
國と亡き

老臣頗羅  
子の息  
實頭盧

ワカハヒ



達婆太子

迦旃延の妻



あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり  
あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり  
あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり



あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり  
あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり

あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり  
あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり



あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり  
あつちからだてて人の身と  
そなたのこころをた  
こびておぼやかしむるは  
まじき事なり









石尾のちもあつたはるるそのうらふ  
 たりもあつたはるるそのうらふ  
 日本水取王の御名火取王の御名  
 水いりちのりさのり火いりちのり  
 又金取王の御名をいりてさるる  
 王の御名もあつたはるるそのうらふ  
 水いりちのりさのり火いりちのり  
 又金取王の御名をいりてさるる  
 王の御名もあつたはるるそのうらふ

あつたはるるそのうらふ  
 たりもあつたはるるそのうらふ  
 日本水取王の御名火取王の御名  
 水いりちのりさのり火いりちのり  
 又金取王の御名をいりてさるる  
 王の御名もあつたはるるそのうらふ  
 水いりちのりさのり火いりちのり  
 又金取王の御名をいりてさるる  
 王の御名もあつたはるるそのうらふ

あつたはるるそのうらふ  
 たりもあつたはるるそのうらふ  
 日本水取王の御名火取王の御名  
 水いりちのりさのり火いりちのり  
 又金取王の御名をいりてさるる  
 王の御名もあつたはるるそのうらふ  
 水いりちのりさのり火いりちのり  
 又金取王の御名をいりてさるる  
 王の御名もあつたはるるそのうらふ





嘉永六癸丑春新版日録

高祖朝 日衣 一名 日蓮記 二編 三編 同 勇齋國芳 作	茶番 案文 同 萬亭應賀 作	花山吹 百人女郎 初編 二編 一陽齋種彦 作	譚柄瑠璃舞 朝顏草紙 三編 四編 西澤一鳳 作	重井菱染別小紋 四三編編 一陽齋豐國 作	赤松譚 九八編編 同 如淵外史 作	神代もい草 四三編編 同 一圓齋國磨 作	倭文庫 廿四編ヨリ廿七編迄 為年出板仕 一陽齋應賀 作
------------------------------------------------------	----------------------------	---------------------------------------	----------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------------

應賀作豐國画



